

WTCC

FIA World Touring Car Championship

岡山国際サーキット

This is the real thing!
A European-style race right here in...

2010年
10月30・31日
開催!!!



世界一の ケンカレースになる!!!

オイルの匂い、タイヤの音、ドライバーの表情を岡山で感じる!!!

世の中の全て物には、ちょうど良いスケールがある。そして、WTCCにはそれが揃っている。2000ccイコールコンディションのマシン、短すぎず長すぎない約50kmのレース距離、層の厚い約20人のドライバー達、これらの要素がレギュレーションと化学反応を起こし、サーキットというエッセンスを加え、毎戦観るものに感動を与える激しいレースを繰り広げている。

岡山国際サーキットは、このWTCCに特殊なエッセンスを与える事が出来る数少ないステージだ。ドライバーは、1周3.703kmのコースで約50km、14週のゴールを迎える前に結果を出さねばならない。決して広いとは言えず直線距離の短いこのコースでは、必然的にオーバーテイクポイント以外での勝負が生ま

れる。コースを目いっぱい使い、コースアウトしてでも、ぶつけてでも前に出ようとするヤツさえいる。だからレースは面白くなる。また、観客席は手が届きそうなほどコースに近い。タイヤの音、オイルの匂い、ドライバーの表情、マシン同士がぶつかる衝撃音、それらは観る者の五感を刺激する。そう、モータースポーツの原点が、ここ岡山国際サーキットにはある。

いたる所で劇的な化学反応を起こすWTCCと岡山国際サーキットでしかない特殊なエッセンス。ここにガチンコバトルをケンカレースへと変化させ、モータースポーツの原点を心から味わい楽しむすべての条件がそろっている。2010年、WTCCは岡山国際サーキットで世界一のケンカレースの歴史を創る!

WTCC日本語オフィシャルホームページ完成!
最新情報はココをチェック!!
<http://www.fiawtcc.jp/>



ガチンコバトルなフケ!

世界一のレースが間近で見られる!

WTCCは、世界に四つしかない世界選手権のひとつ。F1(フォーミュラ1世界選手権)やWRC(世界ラリー選手権)と並ぶ、FIA(世界自動車連盟)が定める世界最高峰のモータースポーツイベントだ。トップドライバーが集い、世界一の名にふさわしいレースを繰り広げている。2010年はヨーロッパを中に中心にアジア、南米等12カ国で開催される。このレースが日本で、岡山国際サーキットで見られるのである。世界最高峰とはいえ、レース自体にエンターテインメントの要素が多く、ドライバーは比較的フレンドリー。世界一激しく、世界一観客が楽しめるレースと言えるだろう。

スゴ腕ドライバーによる技のデパート!

世界選手権だけでなく、ドライバーは超一流ぞろい。元F1ドライバー、ツーリングカーマイスター、成長著しい若手、玄人好みの超ベテランなど層は厚く、数も多い。トップ争いだけでなく、セカンドグループ、サードグループでも有名な選手たちがバトルを繰り広げている。彼らのプライドをかけた戦いは、観ている者の常識を超えているといってもいいだろう。また、テクニカルで切り返しの多い岡山国際サーキットは、ドライバーが限界までマシンをコントロールし、ガチガチのバトルを演じ、時にはマシンのレベル以上の走りを繰り広げる。その走りを生で見るのできるのだ。

アツく、激しいレース、1日2回の決勝!

熱く激しいレースとなる一番の要素が、1回約50kmのスプリントレースを1日2回行うということだ。第1レースはローリングスタート、第2レースはスタンディングスタートで、スタート方式の違いも見どころのひとつ。しかも、第2レースの上位8台のグリッドは、第1レース結果の上位8台を入れ替えたもの。つまり第1レースで速かったドライバーは、第2レースで後方から追い上げなければならない。また、超スプリントレースの為、「ピット作業で抜く」、「相手の動きを待つ」などの作戦が通用しない。前に出るにはコース上で追い抜くしかない為、自然にレースが荒れるのである。

主な出場マシン

BMW 320i

古くからモータースポーツに参戦しているメーカー。WTCCで唯一のFR車を送り込み、ハンドリングの良さとスタートダッシュが特徴。



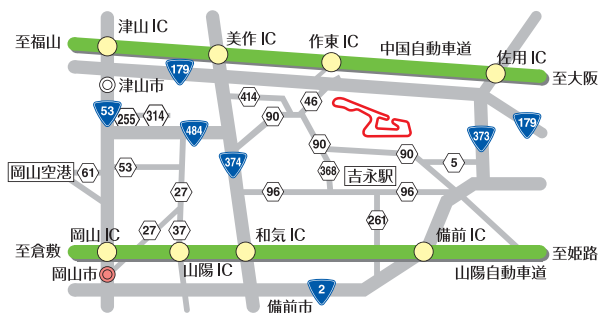
CHEVROLET Cruze

そもそもはアメリカのメーカーだが、WTCC活動は欧州がベース。2009年より欧州で発売が再開されたNEWクルーズで、念願のチャンピオン獲得を狙う。



SEAT Leon TDI/Leon

日本には参入していないスペインの自動車メーカー。フォルクスワーゲン傘下であり、ディーゼルエンジンを武器に戦う。旧車のガソリン仕様もまだまだ現役。



OKAYAMA INTERNATIONAL CIRCUIT ACCESS MAP

岡山国際サーキット(旧TIサーキット英田)

94年95年とF1パンフィックグランプリを開催。ミハエル・シューマッハが94年開催時に優勝した記念すべきサーキット。このGP、予選でスーパーラップとなる1'10.218というコースレコードをたたき出し、ポールポジションを獲得したのは「音速の貴公子」と故アイルトン・セナ。この記録は今も破られていない。決勝では、スタート直後の1コーナーでクラッシュに巻き込まれリタイア。予選2位のシューマッハが優勝。翌95年もシューマッハが優勝している。

- 自動車** 山陽自動車道:備前IC / 和気IC→約30分
中国自動車道:美作IC→約30分 / 作東IC→約20分
- JR** 山陽新幹線:岡山駅→車で60分 山陽本線:吉永駅→車で20分
- 航空** 岡山空港→車で60分



詳しい情報はインターネットで!
プレミアム限定通信販売では、レース公式プログラムやポスターなどがご購入いただけます!

www.okayama-international-circuit.jp



〒701-2612 岡山県美作市滝宮1210